

10月24日(金) 友ヶ島 観光とゴミ調査

自然保護委員会主催(記: 中路)



撮影: 澤村自然保護委員長

フェリーの欠航が多く、3年越し、悲願の上陸成功の快挙です。当日は超快晴で正に友ヶ島日和、海、空のきれいなこと。明石海峡大橋もくっきり。淡路島の洲本のホテル街もすぐ間近。11時の乗船予定ながら10時、加太駅集合。これが成功の要因。金曜日なのに人は来るわ、来るわ、小さな船なが

ら定員は109名、乗船希望者がすっかり上回りました。上陸後、ゴミ調査か観光かの希望をお聞きすると、圧倒的に観光!! まずは全員観光とし、ゴミ調査は後と決定。2時間ほど観光し、南垂水海岸に着くと流木の山、そそくさと流木調査は取りやめ、ペットボトルなどのごみに執着。1時間ほどでタップリとゴミ回収、これ以上収穫しても持ち帰れないので打ち切り。それでもペットボトル: 10kg、プラゴミ: 8kg、タイヤ: 9.8kg などトータル49kgでした。おかげで誇らしげな面々。



[参加者の感想] ●友ヶ島への連絡船は、10月は5回程しか運航しておらず、風が強いとかなりの確率で欠航とのこと、運良く乗船出来て良かったです。ゴミの調査は、南垂水海岸で行ないました。びっくりするくらい多くのごみがあり、海岸の清掃は簡単ではないことを実感しました。キレイな海岸を保つには、沢山の方々の努力が欠かせないのだと改めて思いました。●清掃活動については活動地点の外海に面した南垂水海岸に行くのに手間取ったものの、清掃を始めると皆さん積極的に取り組み、ゴミ全体からすればわずかでしょうが、充実感のある活動でした。●私の住んでいる堺市に堺浜と呼ばれている小さな浜辺があります。そこの清掃をしている ボランティア団体があつて、その活動に参加したとき、世界中のゴミが浜に流れ着く、大阪湾では 浜が少ないので、堺浜にたくさんのゴミが流れ着くということを知りました。同時に友ヶ島に漂着 するゴミも大量だ、と代表者から聞きました。なので、今回友ヶ島のゴミ調査ということに関心を 持って参加しました。見える範囲、ゴミのない浜辺はありませんでした。実際ゴミ拾いをした所は 砂浜ではなく、石や流木でいっぱい、その中からゴミを拾うのもたいへんでしたが、実情を体験 できました。

***泉州労山ホームページブログには写真付きの報告が掲載されています。ぜひそちらをご覧ください。**